



F B C テレビ

R6.8.28

通常よりも出荷が早い早場米の収穫が県内でも始まる中、福井市では子ども園の園児が自分たちで田植えをした米の稲刈りを体験しました。

福井市の社中央第一・第二子ども園では、食育の一環として10年ほど前から毎年米作りを行っています。

きょうは、福井市の田んぼで園児33人が稲刈りを行いました。ことし、4月に園児たちが植えた通称より収穫が早い早葉米の花市前の稲が高さ80センチほどに育ち、園児たちは地元の生産者に教わりながら黄金色に実った稲を握りしめ、稲刈り用の鎌で一束ずつ丁寧に刈り取っていました。その後、刈り取った稲を天日干しにする昔ながらのハサガケも体験し、強い日差しが照りつける中、園児たちは自分の背丈近くある稲を懸命に持ち上げてかけていきました。今日、収穫した米は園児たち自身で脱穀などの作業を行った後、おにぎりにして食べるということです。



稲刈り体験  
4月に園児たちが植えた  
ハナエチゼンの収穫に挑戦



稲刈り体験  
4月に園児たちが植えた  
ハナエチゼンの収穫に挑戦



今後の予定  
1週間ほど乾燥させた後 脱穀・もみすり  
新米をおにぎりにして食べる